私はこの原爆での話を聞いていてまず、こわいと思いました。たった800gのゴルフボールぐらいのウランでたくさんの人が大やけどをし、死んだ人もいるなんてはじめて聞いた話でとてもおどろきました。たぶん池田さんのお父さんはとてもやさしい人なんだと思います。なぜかというと軍隊の命令だとしてもたくさんのいたいのそうさくや、しょうきゃくをしていたからです。いまの私では、大やけどでこげた人や死んだ人をせおうことができません。とてもこわいからです。なぜ、アメリカの軍は日本に原爆をおとしたのかとても不思議に思えます。原爆がこわいのは知っていましたがあらためてこわいと思いました。

私は、原爆先生の話を聞いて原爆先生の父親はとても悲さんな体験をしたんだなぁ…と思いました。自分の命(軍隊で)が助かった人は、遺体を探したり、燃やしたりして、爆心地へ向かう間に皮がむけているんや全身にやけど負っている人はまるで人間ではないような人、そして助けを求める人達がとてもかわいそうに思えました。原子力発電所の爆発は多く「熱線」「衝撃波」「放射線」というのにわかれていますが、私は放射線しか知りませんでした。そして、放射線による死亡率が40%という事を聞いて背中がぞっ~としました。そして、陽子、中性子、ウラン等の最初はよく分からない言葉がたくさんでてきました。でもとてもリアルに話をしてくれたのでよく分かり、そして今生きている事の大切さを知りました。本当にありがとうございました。

先日はお世話になりました。新しい知識が私の中から、ぽの頭にどんどん入りこむ、そんな授業でした。

私はこの授業を受けて、改めて原ばくのおそろしさ、これを学ぶことができました。なぜ、ひろしまと長崎が前々から疑問に思っていました。そもそもなぜ日本なのか、疑問が生まれてきました。土曜日にインターネットなどで調べて、さらに原ばくにあいたくない、そう思いました。放射線の種類が様々だということは、新らたな発見です。

先日は本当にお世話になりました。

2012年7月2日

池田様

私は今日、原爆先生の話を聞いて、いくつもの思いが頭をよぎりました。私はもとから原爆や爆弾はとてもこわい物だと知っていました。でも、こんなにくわしくは知りませんでした。爆弾には色々な種類があってビックリしました。遺体や死体の話もとてもリアルで少しせすじがゾーッとしました。でも、本当にあったことだと思うとなんとなくひとごとには思えませんでした。私達も、東日本大しん災で福島第一原発の被害を受けました。なので、今日教わったことからもっとよくこの福島第一原発事故のことが分かったような気がしました。私は自分が生まれる前の昔のことを知れてとても勉強になりました。今日の話から私はこの時代に生まれて本当〜に良かったなあと思いました。今日は本当にありがとうございました。

6年1小林 [illegible]

ぼくはこの話を聞く前まで
原子爆だんとは戦争中
に広島と長崎に落
とされて多くの人が
死んでしまったとい
うことぐらいしか知
りませんでしたが。
けれどこの話を聞
いてからは原子爆だん
は太陽よりもあつくて
ひふがはがれてしま
うほどおそろしいも
のだということがわかり
ました

けんぱせんせい

ぼくのじっかは広島なのですが、
いいべんきょうになったのでまた広島に
ついてもっと詳しくおしえてください。

池田さんへ

ぼくはいろいろな原爆を知りました。熱線球体の中心の温度が約100万℃もあってすごいと思いました。あと球体の外風約7千℃の温度があってすごいと思いました。衝撃波の速さが毎秒500mほどあるなんてびっくりしました。核爆弾の種類があってすごいと思いました。

私は、今回の授業で初めて原爆についてのくわしいお話を聞きました。私は、いままで原子爆弾が落とされた広島や長崎の様子が描かれた絵本などを見て、なぜ原爆はたくさんの建物をこわしたり、大勢の犠牲者を出したりするほど大きな力をもっているのか不思議に思っていたので今回お話を聞けてよかったと思います。その中で特におどろいたことは4tの原爆の中の50kgのウランの中のたった800gが核分裂を起こしただけで大きなエネルギーを出すということです。また、そんな爆発の中でお話に出てきた方を含め助かった人がいてとても嬉しく思います。しかし、亡くなった方の焼却作業などはとてもつらかったのだろうと思います。私は今も行われているこの戦争が犠牲になった人々のためにも早くなくなってほしいと思います。

ぼくは最初は広島の原爆のことはあまり知りませんでした。でも先生のおかげで原爆のことをたくさん知ることができました。

最初にまず原爆のいかはものすごいことを知りました。原爆はすごく高い温度の爆風がとんできてそれにふれるとかあがべろべろに落ちる聞いた時はなにもそのようしていないのになんでこうならないといけないんだろうと思いました。

また原爆の仕組みも先生のおかげで知ることができました。原爆は熱線、衝げき波、放射線がとうかされるとまき散かりすごいきけんだと知りました。

私は、原爆先生の授業を受けて、原爆はとても悲惨なものであり、戦争など、二度とおこらないでほしい、と強く思いました。

広島に原爆が落ちて、変わってしまった人々の姿、町の様子、空の色など、その時の情景が、なんとなくですが、想像できました。そしてとても痛ましい気持ちになりました。その原爆を体験した人の気持ちはわかりませんが、とても辛かったと思います。

また、原爆の威力についても学ぶことができました。とても温度が高く、一瞬にしてものがなくなってしまうこと、放射線が拡散して多くの人に被害をもたらすことなどがわかりました。そして、原爆はとてもおそろしいものだと思いました。

この授業で学んだことを忘れないでいこうと思います。

私は広島原爆の話を、聞いて、
とても、広島の人は、大へんだった
んだなと思いました。
原爆の話の中で、人が焼けて、
人の肌がこげて、皮がむける
という話を聞いて、すごくかわ
いそうだと思いました。実際の写
真も、あり、とても、人じゃないようでし
た。私は、その8月6日におきた広
島原爆についてで、死者が14万人も、
いて、すぐおどろきました。もし、東京で、
おきていたら、私たちが、いなくなっているか
もしれないので、ほんとに、こわい原爆な
んだな思いました。この話を聞いて、
とても、勉強になりました。

源さぶく先生へ

ぼくは始めて源ばくはこわいと思いました。それはいろいろな人がまきこまれて死んでしまうからこわいと思いました。死亡率は40%のしょうしゃせんはすごくこわいことと ゴルフボール一個分のウランで人が何万人も死くなってウランとはこんなにちいさくてもいっしょんにして町や人をまきこんで行くと言うことまわりが火の海だな。で人を助けるのがむずかしいことを知りました。原ばくはすごくこわいと思います。

私は、原爆の話を聞いて2つのことが分かりました。
1つ目は、広島におとされた爆弾についてです。
なぜ爆弾が広島におとされたのか、ずっと不思議に思っていました。
今回の話で、広島にはアメリカ人がいないからということが分かりました。
2つ目は、放射線についてです。
広島市の人口は、35万人、被爆者数が24万人、死者数が14万人ということが分かり、あらためて、放射線はこわいなぁと思いました。

ぼくは、原ばく先生という授業を授けて、思った事があります。

原ばくをとうかし、アメリカ軍は写真を取る予ゆうがあるのかふしぎでした。原ばくのきぼが大きくて、世界中に放射能がとんでいたからすぐにふっきゅう、きゅうしつ作業ができたけど、もしきぼが小さかったら、放射能がそこらへんにじゅうまんしてて、きゅうしつができなくて、もっと死者がでて、かわいそうだけど、きぼが大きかった分、はやく、一はやくきゅうしつができてよかったと思います。原ばくは、もう二度と造らず、8月6日、8月9日の事は世界中の人にしってもらいたいと思いました。

原爆先生の話をきいて、私は、とても原爆というのはこわいものだと思いました。　なぜなら、3000°のものが落ちてくるからです。鉄がとけるのも、1200°でとけてしまうのに、それより熱いものが人間にあたると、いっしゅんにして死んでしまうなんてとてもおそろしいと思いました。私は、もう一つびっくりしたことがあります。それは、ウラン50Kgの中の800gは、ゴルフボールの大きさなのに、その大きさで、町中をはかいするのをきいてとてもびっくりしました。今回、はじめて、原爆の話を聞いてとてもよく学びました。これからも、原爆の話をしてもらえるのなら聞きたいと思いました。

今日の授業での感想。

私は3・4年の頃から戦争について、くわしくなりたいと思っていました。なので、少し原子爆弾について調べていました。ですが今回の池田さんの話を聞き初耳だ！と思う部分があり、とてもドキドキしながらお話を聞かせていただきました。

1945年(昭和20年)8月6日午前8時15分に広島へとリトルボーイが。きのこ雲や放射線による黒い雨。両手を前へと出して歩く、人とは言えない人。そのような基本はドラマや本などで学んでいましたが、それをもっとさらにくわしく説明してくださって、自身がドラマで見た光景、本で想像した光景とは全く別のものが頭の中にうかんでくる。そういった事があり、とても勉強になった2時間でした。

ぼくはこの授業でいろいろなことを学びました。核分裂はどんどん広がっていくのでおそろしいとおもいました。原爆の中心は1000℃ほどまり太陽より暑いことや外角だけでも7000℃370℃はなれたところでも3000℃だったことはじめてしりました。広島市に敵りかんがいないと思われただけで原爆をおとすのはひどいと思いました。ぼくはこの授業で戦争や原爆を使うことはおそろしいのでぜったいしたくないと思いました。

私はこの授業を受けて、
あまり原爆のことは、
知らなかったけれど、た
くさんのことを学べました。
原爆についてなぜ
話してくださったようなこ
とがおこったのか、私は、
とてもあの「広島の9日間」
を読んでみたいと思い
ました。
ウランが800g核分れつした
だけで、すごいことが起こって
しまう、そのことにすごく
ビックリしました。
ほかにも思ったことがたくさんあ
りました。

ぼくは、原爆（原子爆弾）の話を聞いて、「広島」・「小倉」・「長崎」になぜ爆弾が投下されたかなど、がよく分かりました。

また、知ってこわくなったことがあります。

それは、わずか「800g（ゴルフボールぐらい）」の重さで「広島」がはかいされてしまうということです。またそんな物がそん在していることもこわいなと思いました。

私はげんばくのことがよくわかりません
でした。けれど今日の授業でとても
おそろしいことがわかりました。
たとえば熱線の温度の真ん中は
約100万℃で太陽より熱いことがわかり
ました。いたいの回収も回収できない
ほど体がぼろぼろになっていてと
てもおそろしいことがわかりました。
子どもずれの親やお年寄りの人を
たすけたくてもたすけられないことが
かわいそうだと思いました。
川などの水がなくなっていることは
とても想像できないくらいな暑さ
だと思いました。私はこれからげん
ばくについてもう一度よく考えたいです。

原爆先生の話を聞いて

僕は原爆先生の話を聞いて原子爆弾という恐しい新兵器がものすごい威力を持っていてたくさんの人の命を奪ったということを知り、改めて命の大切さを実感しました。またウランはゴルフボールぐらいの大きさで800gぐらいと聞いてたったそれだけで多くの人たちがぎせいになったと思うとなぜ日本へ落とさなければならなかったのか不思議に思いました。もうすぐ広島と長崎に原爆が落とされた日になるので原爆について考え直す良い経験になったと思いました。

ぼくは、原爆先生の話をきいて、原爆がどれほど恐いものなのかがよくわかりました。一瞬で人を焼きつくしてしまうこと。一瞬で多くの人を殺してしまうこと。原爆の熱さで人が蒸発して消えてしまったという話だって聞いたことがあります。そして、原爆から逃れたとしても、放射能が体をむしばんでいくこと。これらはすべて、たった800gのウランが核反応を起こしただけと聞いて、びっくりしました。

今、日本はアメリカにいろいろなことで頼っているけれど、昔は原爆を落とされて、何十万人もの命をうばわれていると考えると、難しいです。今、まだ原爆を持っている国はいくつもあります。そのような国からも原爆を取りのぞき、地球から原爆をなくしたいです。そのようなことを進めるには、日本が一番協力すべきだと思います。

私は原爆の授業を受けて
原爆は、とても大きな力があり
広島や長崎は、とても大きな被害
をうけ、たくさんの被爆者がで
たことや原爆はどのようにして
爆発するのかなどいろいろなこと
が分かりました。
私が1番おどろいたのは、広島
市の約70パーセントの人が被爆
したことです。
原爆は、多くの人の命をうばい
たくさんの人が被害をうけとても
こわいものだと思いました。

原爆先生の話を聞いて

私は、原爆先生の話を聞いて、原爆はとてもおそろしく、怖いものだなと、あらためて思いました。

肉がはがれたり、はれたりしている姿なんて想像もつきません。

この話の主人公、池田よしこさんは、ひばくしたりした、人々を見た時、どんな気持ちになったのかなあと思いました。

もし、私の地域に原爆がおとされたら、パニックになってどうしてよいのかわからなくなるだろうなと思いました。

この話を聞いて思ったことは原爆投下をして、喜ぶ人なんていないのに、どうしてやるのかと思いました。原爆投下なんて二度とおこらないでほしいです。

私は、原爆先生の話を聞いて原爆の威力を知りました。たたゴルフボールほどの大きさの核だけで広島を破壊したと聞きおどろきました。太陽よりも熱いものだったということを知りました。それに、広島にいた軍隊の方達がどんなに大変だったかも知りました。その3日後に、長崎にも投下され、長崎の多くの人が亡くなりました。広島、長崎に住んでいた多くの人達の命を奪った原爆はおそろしいものだと改めて実感しました。二度とこんな事にならないでほしいと思います。原爆をこの世界から失くしてほしいと思います

私は、原爆について話を聞いてなぜ世界各国で戦争がおきてしまったのか不思議に思いました。戦争がおきなかったら世界の人々は平和な日日を過ごすことができたと思います。原爆をつくろうと思った人、原爆をおとした人はどのような気持でおとしたのだろうかと私は思いました。また、何人の人々が亡くなってしまったことは悲しいことです。原爆をおとしたところでも何の利益にもならないと思います。原爆先生の話はとても分かりやすかったです。話を聞いていて疑問がたくさんありました。原爆の中はどうなっているか、原爆の威力などのことがいろいろ分かりました。少し原爆について調べてみたいと思います。

原爆先生へ

ぼくは原爆のことについてあまりしらなかったけれどこんかいの授業で原爆は、熱線、衝げき波、放射線などがあって原爆はこわいということがよくわかりました。広島の原爆はかなりすごく広島の人口35万人なのに被爆者が24万人、死者が14万人もいて原爆はすごいパワーをもっていることがわかりました。たったの800gのゴルフボールくらいの大きさに1兆の1兆倍の核があり1億分の1秒でうごんれつすることをしりました。

短かい時間でしたが原爆のことについてくわしく教えてくれてありがとうございました。

ぼくは、原爆についての
お話を聞いて、知らなか
ったことなどが、たくさんあったと
思いました。
ぼくは、このような原爆がおと
されて、とてもざんねんでした。
お話は、すごく原爆が爆
ばつの時のことなどがすご
くつたわってきました。
この原爆がおちた日は
一生わすれないようにしたい
と思いました。

池田先生へ

私は、原爆についてあまり知りませんでした。
でも、先生のお話で原爆はとても威力が大きくて
灼熱が一瞬で人々を襲い、とても辛いということ。
人が人とは思えない残酷な姿になってしまい、その
人々の遺体を火葬などをする側りも大変で、また
原爆で死なずに生き残れた人々、後遺症で
苦しまれたりして亡くられた方、今もなお、後遺症
に苦しまれている方など、死亡してしまった方も、今
も生きている方も大変で、原爆に関係した人々
がとても、辛くて、悲しい思いをしている事
が池田先生のお話ですごく伝わってきました。
その中でも、遺体の状態がとても辛いなぁと思いました。
ゆでたような真っ赤な遺体、死体の傷口からウジ
虫がついてたこと。譬で聞くだけでも辛いのに、実
際に目のあたりにしたらとても悲しいだろうと思いました。
今後も、このお話を日本中の人々に伝えていってください。

〈原爆のお話を聞いての感想〉

私は、今回原爆のお話を聞いて、正直最初は、こわくなりました。お話を聞くだけとはいえ、「人間が、やけどして、体中、真っ赤になった。」などと、そんな光景は、ふつう、見ないので、亡くなった人には、しつれいですが、こわいし、頭がくるってきてしまって、と中から、何だか、気が遠くなってきました。でも、原爆のことを何にも知らなかった私にとって、とても勉強になりました。

8時15分という運命の時間が、どれだけ、広島の人たちにとって、つらかったか、苦しかったか、そして、まだ幼い子の命も、なくして、悲しかったか、お話を聞いて、よく分かりました。広島の人々が、にげる時に、どんなことを思っ

たのか、それぞれの思いを、知りたい。」と、思いました。私が思うには、たぶん小さな子どもがいるお母さん、お父さんは、「子どもを守りたい!!」と必死に思ったと思うし、私たちと同じ、小学生、中学生くらいなら、パニックになってしまって、とにかく「にげなきゃ、死にたくない!!」と必死に思っていたと思います。私の知らない過去には、つらいこと、苦しいこと、悲しいこと、にげだしたくなるようなことなどたくさんあったんだと思いました。でも、それを、にげずに、必死に、生きてきた、そんな人々がすごいと思いました。

あらためて、今回原爆のことを知って、生きるすばらしさ、亡くなっていく悲しみを、感じました。

わたしは、今日の授業で、原子力爆弾のこわさを知りました。広島や長崎にも行ったことがないし、原爆ドームなどの建物や、ひがいにあった人の話などは、テレビや、新聞でしか見たことがなく、原爆は「戦争で使われて、多くの人が亡くなった爆弾」ということくらいしか、知りませんでした。今日の話の中で、特に印象に残ったのは、1つ目に、原爆がとう下されたときの話です。始めに、カメラのフラッシュのような光が出て、まわりが熱くなり、ばくはつ音がした、という話を聞き、自分がその場にいたら、とてもおどろくと思うし、体験したことのないことで、どうしたらいいのかわからなくなると思うので、任務を達成するために冷静に行動したのは、すごいと思いました。また2つ目に、「爆心地に近づくにつれ、人間の姿ではなくなってきた」というところです。想像がつかないけれど、ぞっとして、原爆のこわさを感じました。3つ目に、

原爆の仕組みのお話です。「ウラニ」から、エネルギーを出し切るのが、1億分の1秒で終わるというのを聞き、すごいスピードだ、と思いました。また、このようなスピードで爆はつしたら、あっという間もなく、死んでしまうかもしれないと思いました。このお話で、よく知らなかった原子力発電の仕組みも知ることができました。原発も、核分れつを使っていて、そのスピードを、人が制御している、ということなどです。

今日のお話で、原爆のこわさを知り、この爆弾を使うのは、おそろしいことだと思いました。

また、広島の原爆ドームなどにも、行ってみたいと思いました。

佐久間 美侑

も、正解してあの本がほしかったのですが、
正解はできず、本はもらえませんでした。
でも、正解した人に本を借りて、読みたい
です。
今日の話を絶体に忘れずに、これからのこと
に役立てたいです。これは、忘れちゃいけな
いことなので、次の世代の人達にも伝えて
いきたいです。
今日(6/29)は、本当にありがとうございま
した。

先日の原ばくの話を聞いて、ぼくは1945年8月6日午前8時15分に広島県に落ちた原子ばくだんの、いかがどのくらいすごいものだったのか、はじめて知りました。

話を聞いて、一番いんしょうに残っているのは、落された原子ばくだんの温度です。落された原子ばくだんは、大きさが200mで、中心の温度は、100万度で、外側の温度は、7000度で、350m下の地面は、3000度だったと聞いて、人間がこげてしまう温度だなと思いました。でも、原ばくから150m付近にいても、助かった人もいたと聞いて、くふうをすれば助かることもあるんだなと思いました。

ぼくは広島の原爆のお話を聞いて当時の広島の方や広島で軍の仕事をしていた9人は大変だったんだなぁと思いました。その原爆一つでたくさんの命が消えたんだと思うとなんだか、ぼくがそこにいた時のきもちを考えてしまいます。そう考えるとなんか悲しくなってきてしまいます。

その原爆や去年の東日本大震災の悲しみはどんなに大人になっておじいちゃんになっても忘れずに心に刻んでおきたいです。

原爆先生、今日はぼくたちに原爆について教えてくれてありがとうございました。

《原爆についての話を聞いて》

今日、原爆について、知らなかったことが分かりました。

今までは、"大変なことだった"ということは分かっていたけれど、ひ害について、その時どのように感じたか見えたか、などは知りませんでした。

原爆が投下されたときは、カメラのフラッシュのようにピカッと光り、1秒もたたないうちに熱風がたたきつけるようにふいてきた、など、何がおこったか分からなかったそうです。

また、投下されたあとは今までと全くちがい、こげている人、かみのもが燃えてしまった人・全身が真っ赤にはれあがっている人・皮ふがたれさがっている人などがたくさんいた

ということを聞いて、わたしが
もしその時いたら、きっと何が何だ
か分からなくなってしまうと思い
ました。　また、そうなってしまっても、
できるだけたくさんの人を、自分の
できる限り助けてあげたいと
思ったし、二度このようなことが
おこらないようにしてほしいと思
いました。
今日、あらためて、原爆はおそろしい
ものだということを感じたので、
もっとくわしく知りたいし、わすれな
いようにしたいです。

池田さんへ

今日は、朝早くきていただきありがとうございます。

黄、ったいへんでした。

びっくりしたことは、とても大へんだということがわかりました。

どうして先生そうなっているかわかりません

いけださんのお父さんはすごい人ですね

いけださんは、だいにはんのはんちょうになったんですね とってもすごいです

ひろがはがれるってすごくいたいとおもいます

今日、べんきょうしたことはわすれません。

いろいろおしえていただきありがとうございました。

がんばってください。

僕は今日、原爆の話を聞き、改めて原爆の恐怖を感じました。全身に火傷を負った人の手を握り、もち上げようとすると、皮ふがはがれ落ち、どうにもできない恐さが出てきます。ゴルフボール1この重さ(800g)であんな大都市が一しゅんで消えてしまうなんてありえないと思いました。上空570mでも地上1こは3000℃もの熱さが伝わるのは、とても恐く、しゃく熱地獄のようになるのは嫌だと思いました。

もうあんなことが一生ないようにしたいと思いました。

ぼくは、原爆の話を聞いて分ったことがあります。

広島におとされたウラン爆だんによる被害は放射能と火事によるものだけかと思っていました。しかし、熱風というすごくあつい風にあおられふきとばされて亡くなられた方もいることを初めて知りました。また、原子力ばくだんが空中でばくはつしたときせっし1000万度になりそして空気がぼうちょうしょうげき波ができること、水素爆だんにも原子力ばくだんが使われていることはしりませんでした。

原爆先生の特別授業について

今日、原爆の話でまず思ったことは「怖い」です。話を聞いているだけでも怖いと感じるのに、その場にいた人は、この何十倍も怖い思いをしたと思うと、ぞっとします。それを乗りきった広島の人は、とても、強いなぁと思いました。池田さんのお父さんは、その場にいたにもかかわらず人々を救ったことに私は、勇気のある人だなぁと思いました。

新型爆弾の破かい力は、写真を見てすぐ分かりました。

私は、この話を聞いて、国々の争いがなくなれば亡なる人も少なくなって平和になるのになぁと思いました。

私は、その時のことを聞いて、びっくりしました。水はなかったし、その時、ビルのガラスはなく、はくんだけというのは、どんなにひどいかを教えてくれます。色もなく世界が炭色で、ぼう火水そうの中の水は、じょう発していて、人がひざをかかえ死んでいたことを聞いただけでもゾッとしました。遺体をかたづける人は、においではきけがして、人をたすけようとしても、ひふがはがれて、ぎゃくにくるしめると思うとかわいそうでした。衝撃波の速さ、毎秒500m(音速は350m/秒)というのは、考えられませんでした。でも、この話を聞いて、死んだ人のいたみをわかるのはいいと思いました。

男性は必ず年れいがくると軍隊に行かないといけないのは、強制的で悲しいそうだなと思った。
ゴルフボールの小さな形の中に核分裂をおこすものが入っていると考えるととてもすごいものだと感じた。
話の中の手をとると皮がはがれるところを想像するととりはだかたちそうになった。
死んでしまった人にも生きている人にもウジ虫が付いているなんて、とてもきもちわるいと思った。
放射線でレントゲンのものしか知らなかったけど、ほかにも4つの放射線があるということを知ることができた。

私は、原子ばくだんの話をきいて
広島の人々はこんなにもつらい
かなしい思いをしていたんだなと
思いました。広島の人々のことや
どのようがおこったのかをこれから
もいろいろな人に伝えた方がいいな
と思いました。このことで命をおと
した人、のこされた生きている人も
親しみのある人をなくすととっても
つらく、なみだがとまらないと思います。
広島の人たちのつらさは、話をきいた
だけの私は、すべてはわからない
けど少しでもつらさどのような
ことがあったかは、しれて
よかったんじゃないかなと思いました
そして、はばくだんは、たくさんの人
の命をうばいなんでわざわざこの
ようなことをしたのかなと思い
ました。

私は、1945年8月6日広島でそんな大変なばくはつがおきたことなんで全ぜん知らなかったけれど知ることができてよかったです。私はひがいにあった人や死亡してしまった人だけがつらいといままでずっとそう思っていたけれど池田さんの話をきいて、つらかったのはひがいにあった人や死んでしまった人たちだけでなくそれを見ていてその人たち全員を救えなかった兵しさんもとってもつらかったということがよく伝わってきました。また生き残った人も家族や町がなくなってしまってとてもよろこべることではないのがかわいそうでした。

最後に二班の人がしんでしまったのがかなしかったです。いろいろな人をたすけてきたあの人たちが病気などで死んでしまうなんて…。今のりがくならなおせたかもしれないと思うととてもくやしい気持ちです。

《今日の話を聞いて思ったこと・感想》

・わたしは、話を聞いているだけで、とてもこわかったです。わたしは、転んだりすりむいたりしてもとてもいたいのに、戦争時代の人は、もっともっといたいんだろうなあ、と、思いました。皮がむけていたり、中が見えたりして、助ける人も、こわかったと思います。けがをしている人たちを助けたくても通りすぎなくてはいけないのは、しかたないけど、悲しいと思いました。命令をする人は、「けが人をできるだけ助ける」と、命令してくれたらいいのにと思いました。そんなつらい戦争をしていたときに生きていた人は、すごいと思いました。

・原子(げんし)ばくだんのい力(りょく)はすごいと思いました。名前は、「小さい子供」や「ふとっちょ」でおもしろいけど、中身は、こわいです。

私はお話を聞いて思ったことがあります。まず、広島のことです。中でもけが人のお話を聞いた時、ゾッとしました。ひふがはがれたり、全身やけどだらけなどきいているだけで耳をふさぎたくなるようでした。しかし、その時、とてもてあてした人を尊敬しました。きっとその人たちががんばったので今の広島があると思いました。また、同時におもったのがばくだんとはとてもざんこくなものということです。そんなもの作らなければいいのにと思いました。今日はお話して下さってありがとうございました。

池田 先生へ

本日は原爆について教えていただきありがとうございます。ばくだんはとてもおそろしく昔の人はつらかったことがよくわかりました。川の水がたくさんあったのにばくだんが落されてから、川の水がほとんどなかったと聞いておどろきました。川の水がふっとうするほど、とても熱いということがよく分かりました。原爆の威力は、とてもすごく、生き残った人はすごいと私は思いました。東日本大震災がおき放射線のことは知っていました。目に見えないのでこわいです。でも、すぐに広島の放射線が風に乗って行ってしまったので、とても安心しました。今も、東北には放射線が飛んでいて原爆の近くには行けません。なので早く復興してほしいと思いました。

私がいちばんおどろいたことは1億℃を

人間が作り出すということです。とてもおそろしいと思いました。衝げき波の速さとてもおどろきました。音よりもはやいなんて信じられませんでした。私は、この授業を受けて原爆はとてもおそろしいと思いました。

原爆先生へ

今回、北野小へ来てくださりありがとうございます。原爆についてくわしく知ることができました。特に心に残っているのは、女の人のお話です。9日経って、普通の人間の姿にみんな戻っているけど、1人の女性がまだ、ケガなどをしていて、ウジ虫などがくっついていたり、ハエがとんでいるのや、包たいをはずすときに、傷口にくっついて、とるのが痛いのに、涙1つ見せなかったのが強いと思いました。もし、私がこの時代、広島に生まれていて、今と同じ年だったら、そこまで強くなれないと思いました。今度広島に行ってもっと原爆のことを勉強したいと思います。原爆ドームは、負の世界遺産とも言われるほど、スゴク被爆したのだと思いました。90分間で、原爆にさらに興味を持つことができ、知らなかった原爆雲や広島の原爆後の状況をしることができました。私は、これから今回のことを生かし、また広島原爆が落とされたら、支援をたくさんしていきたいです。ありがとうございました。

げんばく先生へ

私は、今日の授業で、げんばくのおそろしさがわかりました。どれの位のきばくで、てがいがあったのか、どれんな、えいきょうがあるのかなどもわかりました。まず、びっくりしたのは、平たいの人が10mもとばされてしまった事です。よくえい画などで、ばくはつシーンがありますがそんなような事が日本にもあるなんて、びっくりです。一番こわかったのは、人えのてがいです。きず口からうじ虫がでてきた話を聞いて、そんな事があるなんて、知りませんでした。私は、げんばくの事を何となく知っていたけれど、今日の授業で、新めて、げんばくのおそろしさを知りました。

原爆先生へ

今日は原爆の事を教えていただきありがとうございます。

私は、原爆とはとてもおそろしい物という事は知っていましたが、どうして原爆はおこるのか？が分からなかったので今日原爆の話を聞いて分かりました。

原爆にはいろんな種類がある事も知ってよかったと思いました！

またいろんな原爆の事も教えていただけたらうれしいです。

6年3組 長谷（はせ） さつき

原爆先生　へ

今日は、北野小に来て原爆のことを2時間もお話しくださり、ありがとうございます。

色々と、こわい話や、かなしい話があったけど、たくさんのことが分かりました。たまに、広島の原爆ドームの本や話を見たり聞いたりするけど、改めて、原爆のおそろしさを知りました。話しを聞いていて、ぞくっとしました。

また、当時のじょうきょうや、人々の様子もよく分かりました。すごくかわいそうだなと思いました。あと、原爆のいりょく、など、初めて知りました。こわいと思いました。

私は、この原爆の話を聞いて、ひがいをうけた人も、たすける人もつらい思いをしていたんだなと思いました。

池田先生へ

今日は北野小へきて、原ばくのことなどを教えてくださってありがとうございます。原子力発電所はどうやって放射線で電気をつくっているかがよくわかりました。また原ばくの種類の熱線、衝撃波、放射線のこともよくわかり、原ばくによってどのような状態になるのか、よくわかりました。そして、原ばくは太陽よりもあつく、原子力発電とちがい、かこっていなく、ばくはつするたいへんきけんなものだということがよくわかりました。そして、原ばくをおとすことはよくないことを知りました。どんながんじょうなたてものでも、こわれてしまうおそろしいものだとわかりました。

原爆先生へ

今回北野小に来ていただいてありがとうございました。来ていただいたおかげで私はたくさんのことを知ることができました。

私が1番大変なことだとわかったのは、はじめの方の話でした。その中でも特に、温度についてでした。がれきにふれるだけでとても熱いということと、川の水がふっとうしてしまったということからとんでもないあつさだったことはすぐにわかりました。

あと1つなるほどと思ったことがありました。私は、「核分れつ」という言葉をよくニュースでみていましたが、意味がぜんぜんわからなかったのですが原爆先生のおかげで知ることができま

した。
話を聞いて、私は改めて原、爆は、
おとされると大変だと思いました。
なので私は、ほかの国とかへ、日本は
原、爆を落としてほしくないと思いました。

原爆先生へ

今回は、原爆について教えて下さり、どうもありがとうございました。

ぼくは、ゴルフボール一個で広島県を破壊できるというおどろきが印象的でした。

そして、原爆先生の父について詳しく書いてあり、当時の状態がものすごくわかりました。

特に、防火用水おけに人がいて、水位が腰くらいしかないのに、必死で生きのびようとする気持ちが良く伝わりました。

先生の小説によってぼくの想像した原爆とはちがうイメージに変わりました。

今回は、どうも本当にありがとうございました。

原爆 先生へ

今日はどうもありがとうございました。

私は広島の原爆は大変だったと親から聞いていましたが、くわしく聞いたのは初めてでした。正直、聞きおわったときに感想は言えないほどでした。

14万人もの人が命を落としたというのにびっくりしましたがそれを燃やすにも勇気がいると思いました。5人に2人が死んでいるというのは、とてもかなしかったです。

広島は今も放しゃ能が出続けていると聞きました。軍たいの人の気持ちがよく分かりました。

このお話をきいて、私は、原爆ドームに行ってみたいと思いました。ひふがはがれるのはすごくぞっとしましたが、私にとってすごくいい経験になりました。ずっと忘れないと思います。

本当にありがとうございました。

池田先生へ

今日は、原ばくの事をいろいろ教えてくださってありがとうございました。

「広島の原ばく」というのは、何回か聞いたことがありましたが、そんなにもおそろしいとは知りませんでした。

それと、赤・青・むらさき・黒のようないろいろな色の雲というのは、想像もできないくらいびっくりしました。

広島の原ばくは、人口の半分弱の人が死者というのにもとってもおどろきました。原子ばくだんが、「億分の1」というのもはじめて知りました。

私は、今日のお話を聞いてとってもこわくなりました。もし自分がそのたちばになったらどうしようなど、ということも考えてみたいと思います。

池田先生へ

今日はきちょうなお話を聞かせていただきありがとうございました。

私にはむずかしい説明があり良く分からなかった所もありましたが戦争の生々しさや傷後を目のあたりにしたようなさっかくにとらわれました。私の祖母も戦争を体験していて話は何度か聞きましたが今日の話を聞いていたら場所は違うのに「同じ場所であった事を聞いたのかな?」と思うほど爆だんを落とされた後の祖母の見た景色と池田先生のおじい様の見られた景色が似ている事に気付きました。

私は正直言って頭が良い方ではないので戦争がどうという事は分からないですが同じようなあやまちをくり返してはならないと思いました。池田先生の書いた本は友人から借りて読もうと思います。

ありがとうございました。

原爆先生へ

原爆についてくわしく教えて下さってありがとうございました。北野小の近くでもし原爆が落ちたら、ということなども教えて下さり、原爆のきょうふというものがとても伝わりました。

そのきょうふの中でも心に残ったことは二つあります。

一つ目は、その時の様子です。池田義三さんの場合は何も知らないので何がおきたのか分からないというきょうふ、又原爆が落ちてきた地方の人々のいつ死ぬか分からない、この後どうなってしまうのかというきょうふ、そしてこの後どう動けばいいのかも分からない。こんな状態がもしこの辺で起こったらとてもこわいと感じました。

二つ目は、原爆です。原爆が広島に

落ちる時、直下が3000℃になり、川の水がほとんどなくなるくらい蒸発する温度になることを聞いて、原爆の直下にいた人はいきなりの暑さにびっくりする余裕もないと思うとこわいと感じました。

ぼくは、原爆のことについて全然知らなかったのに、原爆先生のおかげでたくさんの原爆のきょうふを感じることができました。もしかしたら、一生に一度しかないかもしれないこの経験を大切にしたいと思います。原爆について教えて下さって、本当にありがとうございました。

原爆先生へ

ぼくは、原子爆弾のことについて、教えてもらって初めて知ったこと、感じたことがたくさんありました。特にすごかったことについて書きます。ぼくはまず、原子爆弾の温度がすごいなと思いました。球体の中心温度が約1000000℃、球体の外周温度が約7000℃、爆心直下の温度が約3000℃という高温でとっても危ない爆弾だということが分かってもう日本には原子爆弾は落として欲しくないなとすごく思いました。原子爆弾は約50kgしかないのに爆大な威力があることが分かりました。ぼくは何で日本に原子爆弾を落としたのかについてもっと知りたいと思いました。本当にありがとうございました。

原爆先生へ

原爆先生ありがとうございました。

私は、先生が言ったことをいろいろとそうぞうしました。手をかすと、どんどんひふがはがれていき、ほねまでにたってしまうときいたらせすじがゾクッとしました。それに人口35万人でひばく者24万人死者14万人ひばく率70%死亡率40%とてもびっくりしました。私には、とびこんだ水がすぐにちっとうしたときき、ふだんは、入るのはビクビクする川でも、そのときはすぐあつくなるのは、すごいと思いました。

私は、原爆についてあまりしりませんでした。これほどにこわいものだとしらなかったです。これからは、一日一日を大切にしたいですたとえ、いやなことがあっても、いいことがあっても、今生きていることがすばらしく、しあわせなこととかんじて、生きていきたいです。それ

池田先生へ

今日は原爆のことをくわしく教えてくれたおかげでよくわかりました。広島の原爆は何回かテレビなどで見たことがありました。でもこんなにくわしく見たことがありませんでした。原爆のリトルボーイのことしなくの熱線、しょうげきは、放射線のことがよくわかりました。

広島の原爆がおとされてくやがどうなったかというながれや広島で何がおこったかということをくわしく教えてくださったおかげでよくわかりました。放射線がどうなったかということもわかりました。また来るきかいがあったらきてしまのことも教えてください。

原爆先生(池田眞徳先生)へ
今回、原子爆弾についてご教授いただき誠に感謝しています。
今まで僕はとりあえず原爆はおそろしいことだけは知っていたけれど具体的なことは何一つわからなかったのでとても勉強になりました。
教えてもらってびっくりしたことは、わずかウラン800gで直径200m、中心部の温度が100万℃、外周が7000℃、また爆心直下が3000℃にもなることです。さらに800gの中に約1兆の1兆倍も原子核があることにもおどろきました。今回この授業をきっかけで改めて原爆はおそろしいと感じました。今回は本当にありがとうございました。

原爆先生へ

原爆先生、いろいろ原爆のことを教えてくださってどうも、ありがとうございました。

原爆先生の授業で、原爆先生のお父さんの池田よしぞうさんは、自分から、17才の時に陸軍になって、すごいなと思いました。そして、原爆でひがいにあった人たちは、わきの所をこすりあわせるといたいから、ふつうの人間の歩き方（手でをよこでふる）やり方を、しないというのを、はじめて、しりました。私は、おじいちゃんに、少し、原爆のことを教えてもらったことしか、なかったので、こんなに、原爆では、いろいろなひがいにあってしまったりしていて、私は、かわいそうな時代だったんだなと思いました。そして、原爆先生から、いろいろなことを、教えてもらえたので、いろいろな

ことが学べました。

今日は、ほんとうに、いろいろなことを

教えてくださりありがとうございました。

原爆先生へ

今日は、原爆のことについて教えていただきありがとうございます。

僕が1番心にのこったことは核分裂の話の中で、原子核が1兆の1兆倍あったことで、びっくりしました。そして、死亡率40%で5人に2人亡くなっていることもとてもびっくりしました。

お父さんも昔は、兵庫に住んでいて、少し危なかったといっていました。しかし被害にあわなかったようなのでよかったです。

昨年の3月11日の東日本大震災での放射線はどのようにすれば処分できるのでしょうか？そのことについては、復興できたりして、福島にみんながもどれるのではないでしょうか。ぼくはそのことを願っております。ありがとうございました。

原爆先生へ

原爆についておしえていただきありがとうございます。そのおかげで原爆のことをよく学ぶことができました。8月6日に広島原爆がおきたこと、ふたたび原爆がおとされたこと新型ばくだんがおとされるとよこくされ、11時05分に長崎におとされたことがわかりました。そのほかに熱線、衝撃波、放射線原子爆弾の基本、核爆弾の種類がわかりました。クイズをだしてくれたりわかりやすく説明してくれたのが私にとってとてもよかったとおもいました。さいごに手紙をよんでいたとき、私はすごくたいへんな思いをしていたことがわかりました。原爆先生、ありがとうございました。

原ばく先生へ

私は、先生のはなしをきいて、心に残っている事が　つあります。

1つ目は、軍の人たちは、まわりの人たちの事を助けたくても、助けられなかったという事です。本当は、すべての人を助けたいのに、見なかったフリをして通りすぎなくてはいけないなんて、とてもつらかったんだろうなと思いました。もし、私だったらたえきれないです。

2つ目は、進むにつれて、どんどん重しょうの人が増えていったことです。真っ黒にこげて人なのかすら分からなかったときいたときとてもビックリしました。

3つ目は原子ばく弾の熱線のことです。中心が100万℃もあり、太陽が近づいてくるのと一緒だときいて、本当に熱かったんだなと思いました。

4つ目は、広島の5人に2人が死んでしまった事です。はなしをきいていて、たくさんの人が死んでしまったんだなと思っていましたが、「5人に2人」ときいたとき、そんなに多かったんだと思いました。

5つ目は、水素ばく弾です。水素ばく弾の中には原ばくも入っていて、すごくこわいなと思いました。

私は原ばくがこの世界から永遠にあってはならないものだなと思いました。

原ばく先生！私たちに原ばくの事を教えてくれて、ありがとうございました。

原爆先生へ

今回は原爆の恐しさなどを、教えていただき、ありがとうございました。

もともと原子爆弾のこわさは知っていましたが、体験などによって、分かりやすく話していただいたため、聞いているとき、思わずうつむいてしまいました。でも、より深く知ることができたと思います。

とくにこわいと思ったのは、爆発のしょうげきだけではないことです。その時死ななくても、放射系線によって、何年も後に病気になるかも知れないことがこわいです。先生のおかげで、平和の大切さがさらに分かりました。

原爆先生ありがとうございました！

原ばく先生へ

原子ばくだんがこんなにおそろしいことを、先生に教えてもらって知りました。

先生のお父さんがこんなに冷せいに行動できていることに、おどろきました。

私は、去年3.11の時はものすごく混とんとしていました。改めてメモしたものを見ましたが、季節は夏、そして原ばくは、3000℃の温度ですから、周りの人々は、まさに、超あちあち黒こげ焼肉祭りです。それに、放射線、しょうげき波、熱線などという、おそろしい材料で作っている原ばくが落ちたら死にます。

まとめて書きますと、先生の父さんは、あんな怖い中、日記を書きつづけたことが、とてもすごいと思います。

原爆先生へ

今日(6月29日)は、原爆について教えていただきありがとうございました。原爆についてよく分かったし、とてもおそろしいことだったこともよく分かりました。私は、原爆なんてもうおこらないからどうでもいいと思っていました。だけど今日お話を聞いて、こんなことがまたおこったらたいへんだろうと思いました。原爆を体験した人は、とてもたいへんだということにも気づきました。もし私が原爆先生の父のようなじょうきょうだったらなにもできずに、たすけられる命もたすけられないなと思いました。今日の話を聞いて自分でも本やインターネットでも調べてみようと思いました。今日は、本当にありがとうございました。

原爆先生へ

先生の父の体験を通して、原爆のことをくわしく教えて下さってありがとうございます。先生の話から原爆を落とした直後のことが頭の中で想像でき、とても分かりやすかったです。

原爆の本などは読んだことはありますが、けむりが変な色に見える理由などは本に書いていないこともたくさんありました。これから先広島・長崎に行く機会があるかもしれませんが、そのときは、いろいろな場所をめぐりながら、先生の話を思いおこし、しっかり原爆のことについて見て来たいと思いました。今回はぼくたちのために北野小まで来てくれて2時間も教えて下さって本当にありがとうございました。

池田先生へ

今日は原爆のことを6年生に教えてくださりありがとうございました。ぼくが池田先生の話した中で一番おどろいたことは、原子爆だんの大きさで、ゴルフボール(800g)1個分ぐらいの小さいものなのにすごいはかい力をもつのはとてもすごいと思いました。ほかにもクイズの問題で放射線がまき散らしその放射線はどこに行ったのかで、風で流され世界中にまき散らしたのがすごいことだと思いました。ほかにも、しょうげきの速さやばくだんの種類を教えてくださりほんとうにありがとうございました

原爆先生へ

原爆先生今日はとても
わかりやすい講議をあり
がとうございました。
ぼくの心に残ったことは
原爆が落ちた後の町はな
にもなくたくさんのがれきし
かなく、川の水も干上がって
しまうというので、原爆はと
てもこわいものなんだという
ことがわかりました。
また、町の人のたくさんの死体
があると聞いたのでとても
こわいものなんだなと思いま
した。
こんなにこわい原爆が落とされて
しまうなんて、戦争はもう二度と
おこしてはいけないなと思いました。

原ばく先生へ

ぼくは、かわいそうなことが3つあり「すごいな」と思ったことが3つあります。

かわいそうなことの1つめは、やけどをしておさえつけられてうごけとはされたのがかわいそうでした

2つめはやけどをしてわきをするといたいのがかわいそうでした。

3つめはおばいいろだけのせがいがずっとつづいたことがかわいそうです。

「すごいな」と思ったことの1つめはきゅう1本の中心温度4分の100万℃のことがすごい

と思いました。
2つめは、きゅうたいの外周おんど糸匂ケイでとゆうのがすごかったです。
3つめは、しばくしん直下のおんどがケイでとゆうのがすごいです。

原爆先生へ

原爆のことを教えてくださってありがとうございました。

原爆のあと暑すぎて死んでしまった人がたくさんいたりたいへんだったことがわかりました。広島の人はたくさん死んでしまったことがわかりました。

原爆のことがニュースでてるときぜんぜん意味がわからなかったけどわかるようになりました。原爆のいりょくは熱線・しょうげきは・放射線があることがわかりました。放射線はアルファ線・ベータ線・ガンマ線・中性子線があることがわかりました。

このことをいかして勉強をしたいと思いました。

池田 眞徳様

私は原爆の話を聞いてこう思いました。21才になったら軍隊に入らなければいけないきまりがあり大変だと思いました。また爆心地ではがれきがたくさんあって大変だなと思いました。

戦争の時はかんずめがきちょうな食べ物だと言うことにびっくりしました。

池田眞徳先生

わたしは、原爆の話を聞いて、21才以上からは、もう軍隊に入らなければならないと知ってびっくりしました。

ほかにおどろいたことは、原爆が爆発したときの温度です。中心の部分が100万度まわりは7000度で太陽よりもあついことがびっくりしました。地面でも3000度ぐらいのあつさになることもびっくりしました。

戦争の時代はかんづめが、すごくきちょうな食べ物だということがおどろきました。

戦争というのは、いっぺんに人の命をなくしてしまうとてもこわいものだということがわかりました。なのでぜったいに戦争はしてはいけないなと思いました。

池田眞徳様

僕は、池田眞徳先生の話を聞いて、原爆はおそろしく威力が強い事を知りました。一つ目は、原爆の表面温度が太陽の温度よりも高いことです。そんなに高い温度の物が、上空400mにあることなど、想像をすることもできません。

二つ目は、爆弾が爆発した時にできたキノコ雲が成層圏にまで達したということです。それほど高い所にまで届くのは、威力がすごく強いからだと思いました。

原子力を平和のために利用することについては良いと思います。しかし原子力を戦争や人殺しのために使うのは、絶対にいけないことだと思いました。

池田眞徳先生へ

今日は原爆について教えてくださって
ありがとうございます。
広島におとされた「リトルボーイ」はたく
さんの人が犠牲になったことが分かりました。
げんばくのせいで皮がはがれそこらじゅう
から断末魔が聞こえたら想象するだけで
背筋が凍りそうです。ですが眞徳さんの
お父さんよしそうさんはそれでも被害者を
助けようとすることはとてもすごいとおもいま
す。三日間放置されそこらじゅうにうじ虫が
わいてくるのはとても気味が悪いですね。
原爆はとても恐いということが
分かりました。
池田眞徳先生ありがとうございま
した。

池田　眞徳　先生へ

今回の特別授業に来てくださってありがとうございます。池田先生の話を聞いて分ったことは、「広島の人は、とても、かわいそうだ」と言うことです。

なんの罪もないのに、原爆を落とされて、苦しみながら死んだ人もいれば、家族にお別れを告げることできないまま、息を引き取った人もいます。

その人達の気持ち、いたみがわかち合える時は、こないと思います。

でも一つだけ分かることがあります。

原爆は、幸せ、家族、笑顔そしてたくさんの命が亡くなることが分かりました。もう二度と、こんな悲しい日が、来てほしくないです。

池田 貞徳 先生へ

今回は北野小に来ていただいてありがとうございました。私は長崎に旅行しに行った時に原爆資料館に行った時はあまり怖いという印象は少ししかありませんでした。

しかし、今回は広島の原爆の話を聞いてさらに怖い印象が大きくなりました。被害のおおきさはそれほど分かっていましたが、被害者数が24万人、死亡者数が14万人と聞いてびっくりしました。一週間ともかからずの間にこれほどの人が悲しい事になったのはとても怖いです。また、その時の広島への影響はとても地獄のようだと思いました。

空はとても不気味な色になり、町はほとんどが燃えていてその傷物にしたじきになる人や、全身が大やけどになっていたり川に飛びこんだ人は全身の肌はさわったらとれてしまいそうで、まるで被害にあった人は人間ではないようなすがたになってしまった事です。

また、ウラン爆弾の事も初めて知りました。
球体の中心温度は約100万℃ 球体の外周温度は
約7千℃ 爆心原下の温度は約3千℃ という温度
を聞いてびっくりしました。ゴムボールのような
小さな球体でもとても怖い事になるんだなと
思いました。また、先ほど長崎の原爆資料館に
行ったとお話をいたしましたが、そこで見た爆
弾や被害になった人の特殊メイクの事を思いう
かべながらお話を聞かせていただきま
した。このように、普通では体験できない
事を分かりやすく、またお話いただきあり
がとうございました。また最近は暑くなったり
寒くなったり気温が変わりやすいのでお体
にお気を付けてお過ごしください。

池田眞徳先生

ぼくは、池田眞徳先生のお話を聞いて、原ばくはすごくおそろしいことが分かりました。原爆が落とされたら、原爆の落とされた近くの人はーしんで死んでしまうことも分かったし、それで死ななくても、火のうずにまきこまれて焼死してしまう人もいるし、そのまま生きのびても後いしょうが残り何十年間も苦しむことになるので、やっぱり原爆はすごくこわいと思いました。

池田 眞徳先生

今回は原爆について説明していただき、ありがとうございます。スクリーンの写真や頭の中で想像しながらまるで実際に起きたことを上からながめているように分かりやすく教えてくれたのでこんなことが分かりました。

昭和20年の8時ごろ、原爆が落される時は町中の人たちがひなんして兵隊はいっしょに今か、今かと構えていたかと思いましたが、一瞬、光が出て何が起きたか分からなくなり、知らない間に赤い炎がまい上がり赤、紫、黒の雲が見えて広島に何かが起きたくらいしか分からなかったのにおどろきました。まさかこんな大きなことになるかはだれも分からないですし私も想像できないくらいだと思います。

また、爆だんのいかについて聞きましたが、熱線ではばくだんの外周が7000℃で太陽より1000℃高いことを知ってさらにおそろしく感じま

した。太陽と同じだということでもおどろきです。
その原爆で人のひふというか、肉がはがれ落ち
ることや、川に飛びこんでも水がふっとうしてま
うこと、ドームの写真を見て人にも建物もなにも
かも一瞬で消してしまい大きないかがあること
を知りました。
今と比べると私たちの時代はとても平和です。
あの日のひ害でもくなった人のことをかわいそうだ、な
どと、ごめい福を祈ることしかできなくて悔しいです。
でもその分、これから、平和な世界を作り、原爆
をこの世から作らないような世界になってほしい
です。大切なのは今回のことをたくさんの人に
知ってもらい、良い社会を作るというのが分か
りました。
これからもっと暑い季節になりますが体に気をつけ
てください。今回は本当にありがとうございます。

池田 直徳 先生へ

本日(6/9)は、北野小学校に来校していただき、ありがとうございました。
ぼくは、最初、ただたんに原爆は怖いと思っていました。しかし原爆は、80gの核分裂をわずか1億分の1秒でしてしまうことや、原爆には熱線・衝撃波・放射線などのいかがあることや、広島の死亡率は、40%もあり、聞いているときの列一列に2人死んでしまうことが分かりました。このような恐しさから原爆の恐しさが一層良く分かり、もう、どの国でも、落してほしくないと思いました。

池田眞徳先生へ

本日は二時間かけて原爆の恐ろしさを教えてくださってありがとうございました。アメリカの新型爆弾「リトルボーイ」の外周が太陽の温度より高いと知ってゾッとしました。原爆の被害者は肉がはがれていたり、骨が見えていたりして、グロテスクだと思いました。先生のお父さんは死体のにおいに慣れたりしていてすごい人だなと思いました。800gのゴルフボールくらいの中に、中性子が1兆の1兆倍入っているのは、どうやったらそんなに入るんだと思しました。本日は原爆を教えてくださってありがとうございました。

6-4 [illegible]

池田貞徳先生へ

今日は、げんばくのことをおしえていただきありがとうございました。

おかげでそのときじょうきょうやげんばくのしくみが分かりました。

ばくハツ地は、かれきにさわるだけでやけどをおったりはい色の世界だったということでものすごくあつかったんだと思いました。

生きた人にもうじ虫がわくことにはとてもおどろきました。

これらのことから戦争はいけないことだととても思いました。

池田 真徳 先生へ

今日は、原子爆だんについて、教えていただいてありがとうございます。

ぼくは、初めて原爆についての話を聞き、悲惨なしょうきょうが頭に思いうかびました。

先生の説明がわかりやすく、難しい「核分裂」、「原爆の種類、構造」などの話も、深くわかりました。

特に、ぼくは、原爆投下後の、現象や、原爆のいかについて興味をもちました。

現象として、第1に、投下後の、空気のぼうちょうです。空気がぼうちょうし、真空地帯になり、上昇気流をおこして、キノコ雲をつくることです。第2に、黒い雨についてです。黒い雨には「ほうしゃ能」がふくまれていて、それも被害になったことです。第3に原発と原爆のちがいです。原発は、核分裂をおくらせますが、原爆は、一しゅんにして爆発することです。

このように、広島の原爆にかぎらず、さまざまな「核」についてのことがわかりました。

池田真徳先生

お忙がしい中、授業をしてくださって

ありがとうございました。

原爆のいりょくについて関心をもちました。

「中心の熱が100万℃、外周の熱が74℃

直下の熱が34℃」のことです。

中心の熱があの太陽よりも熱つかった

のでびっくりしました。

あと、真徳先生のお父さんの救助のことに

も関心しました。体全体がまっかにやけている人

々たちを、おんぶしてはこんでいることです。

兵隊は、死者のてっきょもやることをはじめてしりま

した。

ありがとうございました。

池田　貞徳先生へ

6月29日に原爆について教えてくださってありがとうございました。
私は、原爆はどんなふうにこわいのかよく知りませんでした。でも池田先生が原爆のこわさや、その時の様子を教えてくださったので知る事ができました。
昭和20年8月6日8時15分に落ちたこと。落ちた場所から近いほど人間ほぼくなくなってくろこ、ひふがはがれおちている はれていること。など原爆を前よりも知ることができました。
教えてくださってありがとうございました。

池田眞徳先生

今日は原爆について教えていただきありがとうございます。

私は初めて原爆について知りました。

原爆で一番こわいことはいきなりくることだと思います。平和な日だからって安心してはいけないことが分かりました。

今日の原爆の中で一番にこわいと思ったのは人は爆だんがつくれたことです。

爆だんの中でも強かな水素爆だんです。

太陽をつかってみたのは頭がいいですが私は人を殺すためにつくったのがとてもこわいし一生忘れられない害だと思います。

原爆についてくわしく教えていただきありがとうございました。

池田 眞徳 先生へ

今日は、原爆のことを教えてくださってありがとうございます。

私は、今日の話を聞いて、初めて知ったことがたくさんあります。

1つは、原爆はとてもこわいということです。1つの原爆で、たくさんの人が亡くなったり、大けがをしたり、大切な人を失ったりするからです。

そして、軍隊の方々についても初めて知りました。軍隊の方々は、とてもがんばっているなぁと思いました。とても遺体は、くさいのに、おんぶしたり、最後まで一生懸命やるのがとてもすごいと思った。

初めて知ったことは、たくさんあるけれど、特に印象に残ったのは、亡くなった人や、まだ生きている人の体の中に、

傷口から入ったウジムシがたくさん
入っていたことです。私はこの話を
聞いた時にとてもおどろきました。
私は、今日習ったことをしっかり頭の
中に入れておきたいと思います。

池田 眞徳 先生へ

池田先生、原爆の怖さを、おしえて
くださりありがとうございました。
僕は原爆のことを最初は全然知りませんでした。だけど池田先生のおかげで
原爆の怖さをしることができました。
僕の中で一番心に残ったのは、熱線のことです。800gのゴムボールで直径200mも広がり爆発するということで、しかも球体の中心部の温度が100万℃で、太陽の表面よりもはるかに熱いということをはじめて知りびっくりしました。しかも、地上から570mはなれたところでも3000℃もあってとても人間がたえられないくらい熱いと思いました。
また北野小に来て授業をするときは、もっともっとおしえてください。ありがとうございました。体にきをつけて!!

池田眞徳 先生

6月29日、金曜日。

原ばくのことを、教えてくださって、
ありがとうございました。
私は、このことを知っていました。ちょっと
だけ…。
でも、6月29日の授業で、もっと知ることが
できました。
例えば、広島の人口35万人、被爆者数24万人、死者14万人、といって、
被爆した人と死亡した人を合わせたら、
広島の人口35万人よりタクさんことです。
不思議です。
後、本、ほしかったです。
新しい本、出してください。ぜひとも、
読みたいと思います。

池田　眞徳　先生へ

今回は、広島の原爆について教えていただきありがとうございました。

私は、救助した人の気持ちや大変さなどたくさんのことを学びました。その中でも心に残っているのが被爆者の状況、そして救助した人の大変さです。顔がただやけどして、真っ黒こげになってということをきいただけで、自分も体がいたくなったような気がしました。そして、生きているのか、死んでいるのか分からないという状況までくると、心もとてもいたみました。救助した方たちは、救助してあげたくても、してあげられない状況は、とてもつらかったと思います。また、においや、重さに絶えながら、がんばっていてやらされていたとしても、強い勇気だなと感じました。

私は、池田先生のお話から、言葉にできないくらいの大変さと、あきらめずに

勇気をもってやっていく大切さを学び
ました。このことを、これからの生活で
いかしていきたいと思います。
今回は、ありがとうございました。

池田 眞徳先生へ

今回の特別授業では、色々な事を学びました。まず1つは、原爆先生のお父さんが体験した話です。私も、本などで、読んだことはありましたが、そこまでくわしく書かれていなかったので、勉強になりました。「リトルボーイ」のはかい力を知った時には、おどろきました。800gしかないウランで町が焼けたものですから。それにしょうげき波の速さは毎秒500mもの速さですから何か考える前にふきとばされてしまいます。少し話はもどりますが、原爆先生のお父さんが原爆資料館に行ったとき、あの日の感情は無かったのは、それほど広島原爆は、きょうれつな出来事だったのだな、と私は思い、心が苦しくなりました。今回は本当にありがとうございました。広島原爆の事は、多くの人にかたりつづけてほしいと思います。

池田真徳様

今回はどうもありがとうございました。
原爆のすごさとこわさと兵隊の
大変さがわかりました。
人間が人間のようなのになってしま
うのはこわいと思いました。
リトルボーイのウランのうち800gで広島が
ぼろぼろになったのに50kg全部核分
裂していたら大変になっていたかも
しれない。もうそのようにならない世界
ができたらいいと思いました。
今回はご来校ありがとうございました。

池田 直徳先生へ

今日は池田 直徳先生がおしえてくれた、
原子爆弾のことについて書きました。
池田さんの父は17さいで陸軍にはいりました。
池田さんの父は陸2はのはんちょうでした、それで宇品
西2丁目にいきました、そしたら赤光がみえてねっぷうに
つきとばされたそうでガラスのはへんがとびちっていた。
本ぶから広島市中の消化でした、それで人は生きてい
たけど、人は口、耳、はいはきばのようになっていた、人は黒
こけで、火の海だったらしいです。
せんいをはこぶときはすごくこわくて、はきけがして、
何回もおうとをしたそうです。
広島におとしたげんばくは、リトルボーイというので
すごくいりょくのはるばくだんとかをおしえてもらいました。
今日はほんとうにありがとうございました

池田眞徳 様

今回は、原爆のこわさやしくみなど、様々な事を教えていただきありがとうございました。

私は、実際に資料館に行ったことがあり、原爆のこわさは知っていましたが、体験のお話を聞いたことがなく、改めて、原爆はこわいと思いました。

また、原爆のくわしい事も、今回初めて知ったことが多かったです。中でも、核分裂の話で、800gの中に核が1兆の1兆倍もの数が入っていて、その連さ反応が1億分の1秒で終わるということにとてもおどろきました。

今回は中々聞くことのできない貴重な体験を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

池田眞徳先生へ

今日は原爆のことなどを教えていただき、ありがとうございます。改めて原爆は恐ろしいものだと感じました。

ぼくは実際に広島の資料館に行ったことがあるのですが、そのときスクリーンにもでた焼けただれた人たちの人形は、恐いと思いましたが、義三さんが「きれいすぎる」といったということを聞いて、その時の広島はどれだけひどい状況だったのだろうかと、想像もできませんでした。

そして、二度も起こってしまったこのような惨事を、もう起こしてはいけないとも、思いました。

先生、そして義三さんも、本当にありがとうございました。

池田眞徳先生へ

今日は、原爆先生として授業をしてくださいありがとうございました。ぼくは原爆という爆弾を知りませんでした。しかも日本がはじめておとされたなんて知りませんでした。それで話にあった「リトルボーイ」について思ったことがあります。小さい子なんて名前なのにいりょくがつよい爆弾でした。やくゴルフボールぶんの大きさがつよいなんてびっくりしました。ぼくはこの授業で爆弾は、大きさが関係なくどんなに小さくてもいりょくが強いものがあることが分かり爆弾はこわいと思いました。ありがとうございました。

池田眞徳様

今日は、原爆のことについて教えて下さり、ありがとうございます。

私は、広島と長崎に原爆が落とされたということは知っていましたが、そのころ私はまだ生まれていなかったので、「本当の「恐怖」がよくわかりませんでした。しかし、今日、話を聞き、そのことがよくわかりました。皮ふがただれ、体や顔は真っ赤になり…。その様子を想像しただけでゾッとしました。

今でも、まだ苦しんでいる人がいると思うと、原爆がとてもおそろしく、危険なものかがわかります。

しかし、このような体験はめったにないので、よかったと思いました。

本当にありがとうございました。

池田様

池田真徳先生へ

今日は、げんばくの事について説明してくれてありがとうございました。ぼくは池田先生が放射線のことや、げんばくが広島、長さきにおちたことなどを説明してくれたおかげで、当時の事のあった事が分かりました。ぼくは説明してくれたことで、げんばくは強いはかい力だと思いました。

今日は本当にげんばくのことについて説明してくれてありがとうございました。

池田直徳先生へ

・原爆のことを教えてくれてありがとうございます。いろいろな原爆を教えたり何メートルかを教えていたのでよかったです。でも24個があることがむずかしかったのでおぼえたいです。あおあかむらさききいろくろの色のことを教えていたのでいろいろな色があると思いました。原爆の死亡率のことを教えていたり、死者数のことを教えていたので死者数が大いなと思いました。

池田 真徳 先生へ

池田真徳先生へ

今回は、わざわざ北野小学校に来ていただいてありがとうございました。

今回の授業で学んだことは、1945年8月6日と1945年8月9日に落とされた、原爆のおそろしさを知ることができたことです。

特に、こわいなぁと思ったことは、「ウラン」です。たったゴルフボール1つ分ぐらいの重さ(800g)のウランしが爆発しないのに、広島か長崎の町をはかいし、多くの尊い命をうばってしまうからです。

ぼくは、もう一生原爆が使われないといいなぁと思いました。

池田眞徳先生へ

今日は原爆のことについておしえてくれてありがとうございました。
原爆のことなんか知らなかったけど、この授業をして、原爆のおそろしさを知ることができました。
火災現場からはなれた人は、まるこげになってひふが、むけて手をひっぱったら、骨が見えてしまうのがこわいと思いました。もえるものはすべてなくなるのもかなしいと思いました。
広島人口35万人、被爆者数は24万人死者は14万人 死亡率は40%と聞いて原爆はこわいと思いました。

池田亘徳先生へ

原ばくのしくみやひがいなどおしえてもらってありがとうございます。ぼくはこの日でいろいろなことがわかりました。一つ目は原ばくの作りです。ゴルフボールほどのウランで広島の町がいっしゅんではかいされてしまうなんてとんでもない物ですね。二つ目はひがいにあった人たちです。かわがたれてずりおちきず口にうじ虫がたかっているなんてそうぞうするだけでぞっとします。三つ目は水素ばくだんのことです。水素ばくだんのしくみで、中に原ばくも入っているなんてすごいなかだと思います。ぼくの考えでは、とどうふけんの二つか三つくらいはかいされてしまうんだと思います。原ばくはとてもこわいことなんですね。世界でもこんなひげきがなくなってほしいです。

池田 眞徳 先生

今回、特別授業として、「原爆」のことをおしえてくださり ありがとう ございます。

私は、原爆のことを ただ「怖い」としか思っていなく、どうして怖いのかは思っていませんでした。でも今回の話を聞き、原爆のことがよくわかりました。

一つは、原爆の仕組みです。原爆は火薬がたくさん入っているだけかと思ったけど、広島におちたのは ウラン爆弾で 陽子が中性子により、核分裂して爆発がおきるということです。そして、水素爆弾は ウラン爆弾を利用して 爆発をおこすので 二重になるみたいで それこそ怖いと思いました。

二つ目は、原爆を受けるとどうなるかです。私は前「はだしのゲン」を読み想像はしていたが、言葉で「さわるだけ、ふれるだけで皮が…」と聞くと、受けた方は、とてもとてもいたいと思いました。

そして、授業を受けて思ったことが、なぜ、つみのない日

本におとしたかです。ただ、アメリカ人がいないと思われていただけでおとすなど、アメリカ人はひどいと思いました。でも今の日本は、広島も長ささきもう、っこうしているのは、日本人は強いと思いました。そあと、世界に原爆がおちなくてよかったとも思いました。

そして今回こんな思うことをくれた先生、本当にありがとうございました。

池田　直徳先生へ

今日は、原爆のことを教えてくれてありがとうございます。

私は、広島の原子爆弾のことをくわしく知らなかったのですが、先生の授業で原爆の被害、投下された年月、衝撃波の速さ、放射線のこと、爆心地に近づくにつれての人々の様子など、先生のお父さんが体験したことを教えてくれて感謝しています。

先生のお父さんは17才の時に陸軍に入り、そして、2班の班長になって、りっぱに2班をまとめ上げたという話を聞いて私もこんな人になりたいと思いました。

これからも、お身体に気をつけて、原爆のことをもっとたくさんの人たちに聞かせてください。

池田眞徳先生へ

ぼくは原爆について教えてもらいました。
原爆は急に起こるわけでわなく、起こる日を予測して自分の身を守れるのかが重要かが分かりました。
原爆は怖いというだけでなく、本当に恐しい物で人間の体を焼き殺すような感じが持に怖いと思いました。
後、原爆の威力についても教えてもらいました。
大きく分けて三つの種類があることが分かりました。
一つ目は熱線でした。
球体の中心は、100℃、球体の外周は、7千℃、直下の所は、3千℃の熱線は、それぞれの場所により温度の高さがちがうことが分かりました。

池田先生のお父様は、死体のにおい
に慣れているのもつらい思いをしていた
のは、かわいそうだと思いました。
広島市の人口は、35万で被害者にあった
人が24万人、死者、14万人、死亡率が
40%でかわいそうでした。
たったの2時間でしたが原爆のこと
で、原爆は、とにかく怖いということ
が分かりました。
本当にありがとうございました。

池田 真徳 先生へ

相は原爆についておしえてくれてありがとうございました。

広島にふってきた物の種類やどれぐらいの高さで爆発したとか中の温度などこのほかにも多くの事をおしえてくれました。

池田先生が話してくれた中でおどろいたことが2つあります。1つ目は爆弾の温度が太陽の表面よりあついということです。あんなものよりあついものがふってきたらこわいと思いました。

2つ目はゴルフボール分のねんりょうだけで広島が大変なことになってしまったことです。あんな少ない量だけなのにすごいことになってしまうのでそのねんりょうはこわいと思いました。

こんなすごいいい力をもった物がもしふってきたらと考えるだけでゾッとします。

池田先生の話の中で「なれはこわい」というのが

出てきました。

私はやけこげた死体などには、なれたくはない

と思いました。

これから、こんなことがあっては、ほしくないと思

いました。

ありがとうございました。

池田眞徳先生へ

今回は、北野小まで来て原爆のお話をして下さり誠にありがとうございました。おかげで原爆の怖さを知ることができました。元々、原爆は怖いとよく聞いていたのですが、今回、体験談を聞いてよけいに怖くなりました。特に怖いと思ったのは原爆で川が一しゅんで蒸発してしまうというのが怖かったです。一しゅんでなんて原爆はどれだけすごいんだと思いました。あと、爆心地の地面の温度が3000℃というのもおどろきました。3000℃なんて温度体験したことないので想像を絶する熱さだと思いました。このことからもう原爆は投下されないようにしたいと思いました。怖いということを教えてくれたあなたには感謝しています ありがとうございました!